

大学からの各病院の特徴紹介（ここだけの話ですが編）

岡山赤十字病院

岡山赤十字病院は、岡山医療センターと並び、岡山県内における研修病院の王道であろう。すべての科がハイレベルで整備され、非の打ち所がない。初期研修としても後期研修先として十分勉強になり県内でもトップの研修先と言えよう。「鉄は熱いうちに打て」とばかりに、愛情とともに厳しい研修が君を待っている。

岡山医療センター

岡山医療センターは岡山赤十字病院とならび岡山県内における研修病院の王道であろう。医療レベルは高く、すべての科に一流のスタッフが揃っている。岡山赤十字病院でも紹介したが県内でもトップの研修先と言える。あえて言えば、この手の王道病院にはハングリーかつタフな精神力をもって研修してもらいたい。甘えた気持ちで研修すればポリクリの延長で終わるであろう。しかし、真摯に取り組めば、研修を終えた日には成長した君の姿が！！

愛媛県立中央病院

愛媛県立中央病院は中四国で最大級の研修病院である。夜間は松山市内の救急車を一手に引き受け、さながら不夜城の如きである。呼吸器内科は悪性、良性、感染症の専門家を揃えとても親切に教えてくれる。血液内科は四国で初めて造血幹細胞移植を開始した老舗で、市中病院でありながら 2011 年には日本造血幹細胞移植学会を主宰した。また、松山は独自の文化を持ち、土地柄がすばらしい。病院は市の中心部にあるため、まさに「よく学びよく遊ぶ（個人の感想）」充実した研修医時代を送れるであろう。

神戸赤十字病院

神戸赤十字病院は兵庫県 349 病院中 5 病院しかない DPCII 群（高診療密度病院群）、つまり大学病院と同等の急性期医療を行う病院として規模はそれほど大きくないものの、高度な医療を提供している病院である。研修医の数も抑えられており毎年、人気の病院である。神戸港を間近に見下ろす、まさに神戸の中心

に位置し、田舎者の筆者には夜の湾岸道路をドライブできるのは捨てがたい魅力である（まったく個人の感想）。

姫路赤十字病院

姫路赤十字病院は、スタッフが若く病院は活気にあふれている。経営状態もよく、研修医にもその恩恵がソフト、ハード両面で行き渡っている。血液内科は全国でも有数の症例数を誇り、爪隠す鷹と呼ばれ、外へのアピールは控えめながら知る人ぞ知る血液の巨人である。その血液のトップは筆者の友人であるが、まさに患者のために生きる和製「パッチ・アダムス」である。医師というものがどういう職業なのか。血液内科への興味に関係なく医師としてのスタートを彼のもとで切れるのは生涯の財産になるだろう。

姫路聖マリア病院

姫路聖マリア病院は中規模であり、先述の大病院のような、すべてに至れり尽くせりの病院ではない。後述の 4 病院とあわせ、すべての分野に最先端の医療を提供する病院ではない。例えば循環器内科を本格的に研修したいなら、循環器センターとたすきがけする必要がでてくる。しかし、すべての研修に精通できるわけではないと割り切れれば、取捨選択しあえて中規模の病院を選択する手もある。そこにはポリクリのような細かな縦割り研修ではなく、広く一般内科を研修し、しかも一步引いて見るのではなく最前線で患者と長く向き合う醍醐味がある。姫路聖マリア病院についてもう一点コメントするなら、ここはキリストの愛の精神に満ちている。職員もコメディカルも「患者のために、人のために」という理念が行き届いており、気持ちがいい。他の病院にはない空気がここにはある。

中国中央病院

中国中央病院は福山市にあって 3 番手の規模の病院であるが、内科研修は優れている。この病院も例えばバリバリ救急を研修したい人には不向きであり、じっくりある意味自分のペースで一般内科を研修できる。しかし、やる気があれば、血液、呼吸器、消化器は福山市でもトップクラスの症例数を誇っている。つまり消化器であれば一人の研修医が握れる内視鏡は圧倒的な数となり、内科医として一人前になるのが早い。毎年の研修医は多くないがその分、スタッフ皆から手厚く論文作成、学会発表の指導が受けられる。隠れた研修の名所とい

え、ここの経験者はオールラウンドに「できる」。

岡山労災病院

岡山労災病院も岡山市内にあって中規模の病院である。中規模ならではの風通しのよさがあり、内科スタッフ同士のみならず、他科の医師ともしよっちゅう顔を突き合わせているので連携がスムーズである。細かな縦割りもなく例えば当直で見た患者を最初から退院まで、すべての経過を診ることができる。はるか昔からのスーパーローテーション研修の文化が感じられる（はず）。岡山市内にあって労災と市民病院は、程よい大きさの中規模病院として双璧だ。研修医も多すぎず、程よい大きさが魅力なのか安定した人気がある。

岡山市民病院

岡山市民病院は、岡山労災病院とならび岡山市内では程よい大きさの中規模病院である。医療現場の第一線の戦力として期待され、まさに実戦配備されるために一人前になるのが早い。内科医としての手技はあっという間に習得できる。平成27年から救急もさらに充実する。岡山市民病院経験者はとにかく手が動き、雑草のようにたくましい。君も実戦配備されてみないか（なんか野戦病院みたいだな）。しかも、スタッフは一步後ろから必ずフォローしてくれるので、その心地よい緊張感と安心感からさらに積極的に研修に集中できる。

KKR高松病院

KKR高松病院は、高松にあって決して大きい病院ではないが、研修にかけるスタッフの意気込みはすごい。教える側に熱意があり、研修内容はハイレベルで充実している。特に呼吸器は中四国でトップクラスの研修内容である。小回りの効く虎ノ門病院と言え、まさに大病院のよさと中規模病院のよさを組み合わせたような病院である。広く知られた研修先ではないが、隠れた研修の名所というか、むしろ玄人好みの実力派研修病院である。この病院経験者は、「KKR高松病院でまた働きたい」と皆が希望する。これ以上の説明は不要であろう、百聞は一見にしかず。